

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こぼんはうすさくら鳴野教室 児童発達支援		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 9日		2026年 1月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	2026年 1月 9日		2026年 1月 23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 15
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちに楽しんで通っていただき、ご利用時の様子を保護者にわかりやすく伝えている。	ご自身で気持ちを伝えることが難しいお子さまでも、ご利用中の様子や楽しんでいる様子を保護者さまにお伝えできるように、連絡帳への記載や送迎時の申し送りではもちろんのこと、毎回ご利用中の様子を写真でお送りしています。	利用日数が多いお子さまにも毎回楽しく通っていただけるように、季節行事や新たな活動などさまざまな活動内容をスタッフ全員で考えます。 また、お便りやSNSなどで活動内容の紹介についてもより充実させていきたいと思っています。
2	子どもたちの特性や得意(好き)なこと、困りごとを理解してスタッフ間で共有し、一人ひとりに合わせた支援を行っている。	スタッフによって保有資格や知識、経験はもちろんのこと、物事の考え方や視点などもそれぞれ違いますが、全体会議や毎日の朝礼・終礼で子どもたちの様子や些細なことでも情報共有するようにしています。	スタッフ全員がそのお子さまにどうなってほしいかを考えて接し、それをみんなで共有することで様々な角度から必要な支援に繋がっていくと考えています。それをご本人さまや保護者さまのご希望や思いと摺り合わせ、また共有することで、必要な支援を行いたいと思っています。
3	活動スペースが十分に確保されている。	広い教室をフル活用し、たくさん体を動かす活動を行ったり、活動毎に机などの配置を変えたりしています。 情緒が不安定でクールダウンが必要な時や静かに机上での活動を行う際に小部屋を利用したり、仕切りをしたりしてスペースの確保を行っています。	今後も活動内容や子どもの日々の状態に合わせて、環境設定や整備を行っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の他の子どもと交流する機会がない。	上記と同様に、事業所内での活動を充実させることに注力して参りました。城東区の自立支援協議会 児童部会にも登録させていただいておりますが、会議への参加がなかなかできていませんでした。	自立支援協議会の会議にできるだけ参加し、他の事業所との連携を図りたいと思っています。
2	緊急時などの各対応マニュアルについてや職員研修の実施状況を保護者にしっかり周知できていない。	訓練の様子や研修の実施について隔月で全ご家庭に配布しているお便りに記載していますが、確実に周知できていない状況です。SNSのアカウントも作成してはいるのですが、更新がなかなかできていません。	各マニュアル類については来所時に閲覧いただけることをもっと周知していきます。SNSにも活動内容を載せ、更新の頻度を増やせるようにスタッフミーティングを行いシステム化します。
3	保護者会や研修会の開催など、保護者同士の交流を行う機会を設けることができていない。	今年度は初の試みとして、保護者交流会の開催を実現することができました。しかし、やはり全体として、保護者向けの研修や情報提供などが不足していると感じています。日々の支援に手一杯になっており、新たな企画などが難しい状況となっています。	業務内容を見直して、保護者様からのご希望も多い保護者向けの研修会や保護者同士の交流ができるような懇談会の定期的な開催について計画します。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こぼんはうすさくら鳴野教室 放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 9日		2026年 1月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2026年 1月 9日		2026年 1月 23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 15
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちの自己決定を大切に、安心して通える「居場所づくり」ができています。	その日の活動スケジュールをみんなで確認し、宿題を終わらせてから好きな活動に取り組んでいます。会話が難しい方や内向的なお子さまの場合は、絵や実物を用いて伝える、個別に聞くなどその子に合わせて理解や自己決定ができるようサポートしています。	今年度は昨年よりも小学生の人数が増え、来所後の流れのルールもできました。自分たちでやりたいことを決め活動に取り組んでいますが、自己決定が難しかったり、やりたいことがわからない児に対して、遊びや活動が自分で決められるように提案や支援方法を見直します。
2	活動スペースが十分に確保されている。	広い教室をフル活用し、たくさん体を動かす活動を行ったり、活動毎に机などの配置を変えたりしています。情緒が不安定でクールダウンが必要な時や宿題など静かに机上で活動を行う際に小部屋を利用したり、仕切りをしったりしてスペースの確保を行っています。	現在、子どもが遊ぶには重い机や椅子が多いため、自分たちで配置が変更されるような軽めの机なども検討していきます。体を動かしたい方と静かに過ごしたい方が両方いる時、それぞれ自分たちでスペースの使い方を考えられるように提案や支援を行っていきたく思います。
3	子どもたちとスタッフの間に信頼関係が形成されている。	日頃から子どもたちと学校や自宅でのこと、好きなものことなど様々なお話をし、まずは仲良くなろう！ということ意識して関わっています。子ども一人ひとりの特性や性格、考え方などを理解することに努め、スタッフ間で情報共有を行っています。	「こぼんに来て、先生たちとこれが見たい！」とお子さまに思ってもらえるように、より一層子どもたちに立場を立てて考え、寄り添った支援を行っていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の他の子どもと交流する機会がない。	上記と同様に、事業所内での活動を充実させることに注力して参りました。城東区の自立支援協議会 児童部会にも登録させていただいておりますが、会議への参加がなかなかできていませんでした。	自立支援協議会の会議にできるだけ参加し、他の事業所との連携を図りたいと思います。
2	緊急時などの各対応マニュアルについてや職員研修の実施状況を保護者にしっかり周知できていない。	訓練の様子や研修の実施について隔月で全ご家庭に配布しているお便りに記載していますが、確実に周知できていない状況です。SNSのアカウントも作成してはいるのですが、更新がなかなかできていません。	各マニュアル類については来所時に閲覧いただけることをもっと周知していきます。SNSにも活動内容を載せ、更新の頻度を増やせるようにスタッフミーティングを行いシステム化します。
3	保護者会や研修会の開催など、保護者同士の交流を行う機会を設けることができていない。	今年度は初の試みとして、保護者交流会の開催を実現することができました。しかし、やはり全体として、保護者向けの研修や情報提供などが不足していると感じています。日々の支援に手一杯になっており、新たな企画などが難しい状況となっています。	業務内容を見直して、保護者様からのご希望も多い保護者向けの研修会や保護者同士の交流ができるような懇談会の定期的な開催について計画します。